

このメールマガジンはスポーツ振興くじ (toto) 助成金を受けて配信しています。

☑ スポーツ振興くじ (toto) についてはこちらから
[日本スポーツ振興センター HP] <http://www.jpnsport.go.jp/>



スポーツ振興くじ助成事業

特集

地域住民間の交流・親睦を深めるクラブ

クラブが当該地域の中で存在感のあるコミュニティを創造するためには、信頼感・親近感が得られるような取組が求められます。今回は、地域住民間の交流・親睦を深める取組を行っているクラブを紹介します。

- 詳細 → 稲穂ファミリースポーツクラブ
- 詳細 → 高山村総合型スポーツクラブ
- 詳細 → 総合型地域スポーツクラブ DISPORT・キラキラ うたづ

特別企画

アクティブ・チャイルド・プログラム

子どもを対象とした運動プログラムである「アクティブ・チャイルド・プログラム」の概要や、活用のための各種ツール、クラブでの実践例を紹介します。

- 詳細 → アクティブ・チャイルド・プログラム概要
- 詳細 → NPO法人 たかはまスポーツクラブ
- 詳細 → むれスポーツクラブ

連載

みんなで盛り上げよう! オリンピック・ムーブメント

6月23日の「オリンピックデー」に関連してクラブが行った取組を紹介します。

- 詳細 → NPO法人 SPORTIVOひがしいずも
- 詳細 → よろずや広島北

助成金情報

- (公財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団「YMFS スポーツチャレンジ体験助成」
- (公財) 住友生命健康財団「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」
- (一財) 生命保険協会「元気シニア応援団体に対する助成活動」

詳細 → http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM128_aid.PDF

お知らせ

- イベント情報
 - ・ブロック別クラブネットワークアクション2016
 - ・平成28年度 公認スポーツ指導者全国研修会
 - ・第71回国民体育大会 2016 希望郷いわて国体

詳細 → http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H28/MM128_info.PDF

バックナンバー

毎月配信される総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジンは、バックナンバーとしてPDFでいつでも閲覧可能です。こちらをクリックしてご覧ください。



特集

地域住民間の交流・親睦を深めるクラブ

稲穂ファミリースポーツクラブ
 <山形県鶴岡市>

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域づくりまでも視野に入れ、スポーツの楽しさや喜びを拡充・普及させる公益的な活動を行い、地域から信頼される組織となることが重要です。そのためには、地域住民のニーズにあった各種事業を実施することによって、当該地域におけるクラブの存在感を高め、信頼感・親近感を得ることを目指す取組が求められます。

そこで今回は、地域住民間の交流・親睦を深める取組を行っているクラブを紹介します。



ここがポイント!

- ① 会員間の交流を深めるために、多種多様なイベントを開催
- ② 自分たちのクラブハウスを設置し、世代を超えて交流を深める
- ③ スタッフも役割分担をし、得意分野で力を発揮

1 クラブ概要

スポーツ少年団（昭和45年4月結成）の育成母集団活動から総合型クラブに発展。「いい汗流そう われらスポーツ家族」を合言葉に、家族みんなで参加し、家族一人ひとりが定期的にスポーツを楽しみ、そしてみんなの知恵を出し合い、お互いに支え合い、運営するスポーツクラブです。スポーツ少年団は「子どもたちが主役」でしたが、クラブは「家族みんなが主役」ということで、「三世代で参加するスポーツクラブ」を目指しています。

2 交流・親睦を深めるための取り組み

クラブでは、4つの活動を柱に、以下の活動を行っています。

■ 4つの活動の柱

- ① 仲間づくり
- ② 体力づくり
- ③ 自然とのふれあい
- ④ 交歓交流

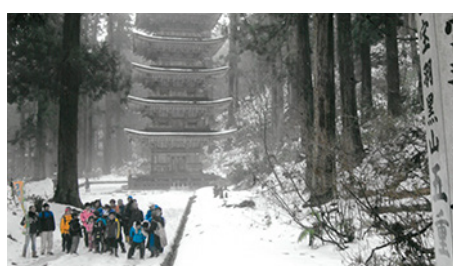
■ 事業内容

- ① サークル活動（定期的な活動）
- ② 会員交流イベントの開催
- ③ スポーツ少年団・リーダーの育成
- ④ 教室の開設
- ⑤ 誰もが参加できる「元気いっぱいスポーツ広場（通称：ファミリー）」の開設
- ⑥ クラブハウスの運営
- ⑦ ボランティア活動
- ⑧ 市、地域活動との連携協力
- ⑨ その他、いろいろな活動

「② 会員交流イベント」は様々な内容のものを開催しています。

平成28年度開催内容

- 5月 元気いっぱいグランドゴルフ大会（春）、天神祭大絵馬パレードへ参加
- 6月 あねちゃカップ女子サッカー大会
- 7月 稲穂杯ゴルフ大会（夏）
- 8月 赤川花火大会観戦及び翌朝花火大会会場清掃協力
- 9月 稲穂杯ソフトボール大会
- 10月 東日本大震災被災地支援活動第9回目・東松島町仮設住宅敬老会支援、
元気いっぱいグラウンドゴルフ大会（秋）、
モンテディオ山形応援ツアー・前座試合参加（中学生）
- 11月 稲穂杯ゴルフ大会（秋）、ソフトバレーボール大会
- 12月 ファミリー大運動会、会員大交流会、ボウリング大会
- 1月 新年会・せんべい釣り大会、新春羽黒山2246段石段登り初詣、マージャン大会、
新春フットサル大会、バドミントン大会
- 3月 ミニサッカー大会



3 会員交流のための様々な工夫

(1) 運営の工夫

クラブの運営は会長、クラブマネジャー、9名のサブマネジャー含め役員が54名おり、イベントの担当やサークルの運営、事務局担当などそれぞれ役割分担しています。また、いろいろな職業の人がいて異業種交流もでき、得意分野でその力を発揮してもらっています。

(2) クラブハウスは魅力いっぱい

昭和61年11月に設置したクラブハウスは、会員のみんながお金を出しあって借りているものです。指導者、事務局の仕事場として、スポーツ少年団員の勉強の場として、会議・反省会・交流会の会場として、会員はいつでも自由に使えます。また、毎週水曜日夜は「わいわいがやがや亭」として会員に開放しており、まさに世代を超えての活動拠点になっており、クラブハウスの力は大きいです。

(3) 一番のイベント

12月に実施している「会員大交流会」は、地域のコミュニティセンターホールを会場に、日頃お世話になっている方々もご案内し、毎年100人を超える参加者で交流を深めています。みんなで「四季の歌」を歌ってスタートし、出し物、プレゼント交換などをし、会の最後にはキャンドルサービスを行います。

(4) 被災地支援も継続して

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地支援活動を毎年継続し、平成23年に3回(石巻市に炊き出し)、平成24年に1回(南三陸町仮設住宅団地の夏まつり支援)、平成25年に2回(夏まつり支援とサッカー少年団を招いての合同夏合宿)、平成26年に1回(サッカー少年団を招いての合同夏合宿)、平成27年に1回(宮城県東松島市仮設住宅団地の敬老会支援)実施し、今年度も10月15日に昨年に引き続き敬老会支援を実施します。

(5) 手作り料理と500円ワンコイン

イベントやサークルの交流には懇親会が付き物です。中には会費は500円ワンコインで、プラス500円程度の手作り料理を一人1品持ち寄りで幹事の負担を軽減しているサークルもあり、みんなで楽しめるように様々な工夫をしています。

(6) 会計について

年間予算は822,500円ですが、主な財源はクラブ年会員の会費(一家族、年6,000円)で、支出はクラブハウスの管理費と通信費、コピー機などの事務費等です。また、このほかに、所属するサークルやイベントの参加費は各自負担としており、それぞれのサークル等の会計についてはそれぞれ独自に処理をしています。

4 課題と展望

クラブのスポーツ活動の場所は小・中学校の体育館やグラウンド、武道場、そしてクラブハウス・空き地などであり、活動内容にも限りがあります。まだまだ地域には、健康づくりや生きがいづくりのためにスポーツをやりたい、お金を出してクラブに入りたい、仲間といっしょに活動したいという人たちも多くいると思いますので、そのためにも、更にクラブの魅力づくりに取り組み、クラブの存在をPRし、学校・地域等との連携を深めて、仲間を増やしていきたいと思っています。

5 会員の声

- 私の子どもは男の子4人で皆スポーツ少年団に所属しました。私も通算10年間スポーツ少年団とともに活動しましたし、子どもの成長を見ながら、いろいろな親子の活動も、親同士の活動も大変楽しかったです。それ以来、「ソフトボールクラブ」や「けやき元気村」の活動、そして、グラウンドゴルフ大会などに今も参加しており、37年間も係わっています。気の合う人たちとの活動は楽しいです。(76歳 男性)
- 子どもがスポーツ少年団に入団してから12年になります。子ども2人は高校生になり、部活動のサッカーをしながら、リーダーとして継続して活動しています。私もクラブのママさんサッカーチーム「ママダチー」と「元気いっぱいスポーツ広場」、そしていろいろな交流イベントに参加しています。親子三代、家族みんなで楽しんでいます。(43歳 女性)

(稲穂ファミリースポーツクラブ)
クラブマネジャー 村田 朋子)



日本スポーツ少年団リーダー制度とは？

メールマガジン114号の特集「知って、連携！日本スポーツ少年団リーダー制度」にて解説しておりますので、ぜひご覧ください。

➔ http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabushien/MM114_H26_leader.pdf



育成母集団とは？

「育成母集団」という名称は、日本スポーツ少年団が独自に使用している名称ですが、単位団活動を支える“母体になる集団”という意味で、母親たちの集団ということではありません。スポーツ少年団は、生涯にわたってスポーツを楽しむことができる地域クラブを目指して活動する団体ですから、単に子どもたちだけの集団ではなく、やがては大人も含めた地域集団の形成を目標としています。

したがって育成母集団は、子どもたちの財政面・労力面・精神面で支援するばかりでなく、地域に住むすべての大人自身もスポーツや文化活動を楽しむことができるシステムを地域に形成しようとする、極めて重要な意味と役割をもっているのです。

育成母集団の役割

- ・スポーツ少年団に対する支援、協力活動
- ・スポーツ少年団活動への理解を広め、加入促進をはかる活動
- ・育成母集団自身のスポーツや文化活動
- ・育成母集団活動への理解を広め、仲間を増やす活動

クラブプロフィール

設立年月日：平成18年1月29日

所在地：山形県鶴岡市

運営：会員数：家族会員120家族（平成27年度）
予算規模：822,500円（平成28年度）

有給職員：なし

特徴：今から47年前の昭和45年4月に「稲穂スポーツ少年団」が結成され、昭和53年から始まった日本スポーツ少年団第5次育成5ヵ年計画に、「すべてのスポーツ少年団に育成母集団を」・「育成母集団のための活動を」が織り込まれました。その呼びかけに応じた活動を行い、団員も小学生で終わらずに、中学生・高校生もリーダーとして育成し、リーダーの親もまた、育成母集団の会員として継続参加している人も多いです。親子サッカーやファミリー運動会など年数回の親子いっしょの活動も継続しており、そして「親も定期的にスポーツをしたい」と始まったのが、毎週金曜日夜に小学校体育館で行う、会員が誰でも参加できるスポーツ広場（通称：ファミリー）の活動です。この活動も36年間続いています。その後、そこから活動は広がり、親と指導者でのソフトボールチームやサッカーチーム、ママさんサッカーチームなどができ、今も様々な大会に参加しています。また、リーダーの育成においては、これまで、日独スポーツ少年団同時交流派遣事業に、シニアリーダーとして高校生・大学生、指導者も含め19名が参加しています。

■連絡先

郵便番号	997-0021
住所	山形県鶴岡市宝町4-73 クラブハウス「稲穂会館」
TEL & FAX	0235-24-8758
Eメール	inaho-turuoka@nifty.com
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/inaho/

地域住民間の交流・親睦を深めるクラブ

高山村総合型スポーツクラブ

<長野県上高井郡高山村>

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域づくりまでも視野に入れ、スポーツの楽しさや喜びを拡充・普及させる公益的な活動を行い、地域から信頼される組織となることが重要です。そのためには、地域住民のニーズにあった各種事業を実施することによって、当該地域におけるクラブの存在感を高め、信頼感・親近感を得ることを目指す取組が求められます。

そこで今回は、地域住民間の交流・親睦を深める取組を行っているクラブを紹介します。

ここがポイント!

- ① 「あなたが出番です」をキーワードに全員参加を目指す
- ② 整った施設が「ない」ではなく、恵まれた自然が「ある」という発想
- ③ 住民の交流の場として認知されることで、行政の協力もスムーズに



1 クラブ概要

仲間うちで楽しむためだけの活動の場ではなく、常に地域に広く門戸を開いたクラブを目指しています。そのため、多種目を用意し、参加者を子どもから高齢者まで広げ、これまでスポーツに関心をもっていなかった人の輪を広げたり、さらにはボランティアとしてクラブの事業に協力しようという人たちの協力を得て、村民がもっと活動に参加できる場をつくりたいと考えています。

恵まれた環境に感謝し、トレッキングコースやグラウンドの整備をクラブ会員・スタッフで行い、通常のスポーツ教室やイベントに加え、世代を超えた交流ができるイベントも実施しています。また教室・イベントの実施にあたっては、地域住民も個々人の得意分野で運営に携わっています。



2 地域住民間の親睦を深めるイベント

南北ソフトボール大会

高山村は中央に松川渓谷が横断し、地域の面積と人口が丁度半分に別れています。そこに着目し、「南北ソフトボール交流大会」を毎年開催しています。

この大会は、若い頃に野球やソフトボールをやっていた方たちにもスポーツを楽しんでもらいたいと考え、始めました。年齢が上の方でも楽しめるように、選手の年齢を男性は60歳以上、女性は30歳以上とし、「ファインプレイ・全力疾走・ホームラン」の禁止等の独自のルールを設定し、4時間ソフトボールを行います。

高山村の広報誌に大会のチラシを挟み込み、地域住民にも広く参加を呼び掛けていることから、クラブ会員ではない住民も、

毎年この大会に参加しています。

村の大きさからほとんどの住民が顔見知りのような状況のため、この大会が久々の再会の場となり、参加者同士話が弾み、時が経つのも忘れるひと時となっています。試合の勝敗よりもここでの住民同士の再会を楽しみにしている参加者も多くいます。

また、毎年最高齢選手による選手宣誓を行っています。昨年度は、一昨年の選手宣誓の文言に大会参加者が曲をつけ、その曲を学校の先生がピアノ伴奏するといったそれぞれの分野で活躍いただきました。ここでもクラブのキャッチコピーである「あなたが出番です」を実践してくれました。



トレッキング

村域の約85%を森林が占める環境を生かし、トレッキングを定期的で開催しています。

ただ山道を歩くだけでなく、トレッキングの途中で温泉に入ったり、昼食用の箸作りをしたり、山の樹木に名札を掛け、樹木の名前を憶えることも行っています。その他にも、自炊やジップライン、ロングブランコ体験もあり、参加者から好評を得ています。これぞ高山村総合型スポーツクラブのスタイルと自負しています。

イベントの実施にあたっては、数日前から安全確保のために下見に入る人、昔取った杵柄をトレッキングコースの整備で思う存分に発揮してくれる少し老いた山男、ジップライン設備を手掛けるスキーリフト技術者など、それぞれの得意分野でクラブに携わり、「あなたが出番です」のキャッチ

コピーを体現してくれています。

このトレッキングも、クラブ会員のみならず地域住民に参加を呼び掛けており、参加者からはこのトレッキングに参加したことにより、山の素晴らしさを知り、自分の住んでいる地域を自慢したくなるといった声が多く聞かれます。

クラブとしても、深緑時・紅葉時の山深いトレッキングにより、村民ですら知らない大自然に抱かれて心身をリフレッシュできること、そして田舎の良さを村民が体験できることは、郷土愛を育むことにも効果があると考えています。

また、体育施設がない、グラウンドがないと思うのではなく、自分たちには恵まれた大自然があることを意識することでクラブの活動の幅が広がりました。



3 イベント後のクラブや地域の変化

イベントの実施にあたっては、地域の商店主や小規模の企業が金銭や物資（ビールやチェーンソー）の面で援助をしてくれています。また、行政では施設使用料の減免、体育施設の優先、高山村広報誌や広報無線での活動紹介等の協力をいただいています。それらも私たちの活動が認知されているからこそだと思います。また、イベ

ントの実施により、住民同士の交流の場や自分たちが住む地域への愛着をもつきっかけを提供できているのではないかと考えています。

クラブとしても、イベント・教室当日の参加者の満足度を想像しながら準備するなど、イベントを実施するまでの全行程がスタッフの絆を深めています。

4 今後の課題・展望

クラブとしては、マネジャーの常駐（有償）がなければ企画立案運営に支障をきたす事業規模になってきているため、クラブマネジャーの養成が課題となっています。

同じ村に住み、同じ時を過ごす仲間と少しでもかかわり合いを持ち、助けられたり助けたりそんな場を作りたいと思っています。

また、個人個人の持っている小さな力を7,000倍（村人口）にしたいとも考えています。これから展開する事業のひとつひとつは小さな思いつきかも知れませんが、高山村の仲間の力と知恵を結集し、毎日が健康で楽しく過ごせる事業を展開することを目指しています。

（ 高山村総合型スポーツクラブ ）
事務局 深谷 照男

クラブプロフィール

設立年月日：平成23年2月20日

所在地：長野県上高井郡高山村高井4309-2

運営：会員数：86名（平成27年度現在）

有給職員：1名

クラブ内資格：日本体育協会公認アシスタントマネジャー 2名

保有者数 日本体育協会公認競技別指導者資格 6名

特徴：村域の約85%を森林が占める環境を生かし、イベントや教室（7種目）を年間230回程度実施しています。冬には、国内唯一のトロイカ（ベンチ式リフト）を活用し、幼稚園児から小学生を対象にしたスキー教室を開催しています。また、「このクラブではあなたの代わりはいません、あなたが出番です」のキャッチコピーのもと、誰もがスポーツ活動のどこかに関わりを持つようにし、トレッキングコース、ジップライン、グラウンド等の整備もクラブ会員・スタッフで行っています。

■ 連絡先

郵便番号	382-0826
住所	長野県上高井郡高山村高井4309-2
TEL & FAX	026-248-0365
Eメール	high-mountain@janis.or.jp
ホームページ	http://members.stvnet.home.ne.jp/highmountain/ 信州高山村総合型スポーツクラブ <input type="button" value="検索"/>



地域住民間の交流・親睦を深めるクラブ

総合型地域スポーツクラブ DISPORT・キラキラ うたづ ＜香川県宇多津町＞

日本体育協会が掲げる総合型クラブの基本理念「スポーツを核とした豊かな地域コミュニティの創造」を実現するためには、地域づくりまでも視野に入れ、スポーツの楽しさや喜びを拡充・普及させる公益的な活動を行い、地域から信頼される組織となることが重要です。そのためには、地域住民のニーズにあった各種事業を実施することによって、当該地域におけるクラブの存在感を高め、信頼感・親近感を得ることを目指す取組が求められます。

そこで今回は、地域住民間の交流・親睦を深める取組を行っているクラブを紹介します。



ここがポイント!

- ① 若者や転勤族が多い地域だからこそ、さまざまなイベントを開催
- ② 季節限定イベントの実施でクラブに興味を持ってもらうきっかけに
- ③ 様々な県の事業を活用し、質の高い指導を提供

1 クラブ概要

｜設立のきっかけ

現クラブ会長とクラブマネジャー夫妻が、県主催の講座でキンボールを体験したことを契機に、キンボール教室を設立しました。参加者の中から徐々に『キンボール以外の種目もやってみたい』というニーズが生まれてきた同時期に総合型地域スポーツクラブの存在を知り、会長とクラブマネジャー夫妻はクラブ運営に関する講習会を積極的に受講。地域住民にも声をかけ、平成20年度より宇多津町に初となる総合型クラブの設立に踏み切りました。

｜現在までの経緯

DISPORT (ディスポルト) の創造集団として、多様な地域コミュニティ活動もクラブの役割と考えています。当初、キンボールと体操の2種目が中心でしたが、今は小中学校、保健センター、会議室などを拠点に8種目の定期教室や夏休み特別講座を実施しており、平成28年度はクラブ初となる英会話教室も開始しました。

また、資格取得講座・養成講習会に参加するクラブスタッフについては、受講費用および初期登録料をクラブが負担するなど、指導者養成にも力を入れています。

2 各イベントについて

都市部の総合型クラブがイベントを行う意味と課題

宇多津町は、日本一面積の小さな香川県の中で最も小さな町です。県道を境に、北部は商業・観光施設が立ち並び県下随一の人口増加を誇る“新宇多津町”、南部は神社・仏閣をはじめ伝統的な古き良き街並みが残る“旧宇多津町”となっており、多様な文化に触れることができます。

また、クラブが活動拠点とする新宇多津町には、若者や転勤族が多いという特徴があります。そのため、クラブ会員の入れ替わりも激しく、人が流動しやすい中で地域コミュニティをどのように構築していくかが大きな課題です。こうした環境の中、まずクラブに興味を持ってもらうきっかけとして、多彩なイベントを開催しています。

｜イキイキ健康フェスタ

クラブを知ってもらうためのPRイベントとして、クラブ設立時から毎年2～3回、不定期で開催しています。ニュースポーツを毎回1～4種目体験でき、即席でミニ大会を行うこともあります。定期教室化に至っていない種目を用意しており、人気があればクラブで教室・サークル化に繋げるきっかけにもなります。転勤族が多いため、クラブを知ってもらうこととともに地域への活動に興味をもってもらうことを目的に年度初めの4～6月に開催されることが多いです。また、卓球バレーやボッチャといったアダプテッドスポーツに触れる機会にもなっています。



｜スキー教室・スノーボード・そり・温泉ツアー

クラブ設立母体であるキンボール教室の頃から、季節限定イベントとして実施してきたツアーです。北海道出身の会長が『雪と触れ合う機会が少ない香川県民のために』とはじめたもので、毎年2日間の日程で岡山県真庭市の津黒高原スキー場まで貸切バスで出向きます。定員は40名ですが、年度初めに『今年のスキーはいつですか?』と問い合わせがあるほどの人気イベントで、『会員の方が割安なので1月から会員になりたい』という相談も多く受けます。

また、県広域スポーツセンターが実施する「エキスパート派遣事業」を活用し、県内在住の(公財)全日本スキー連盟公認指導員を講師に招き、無料で質の高いスキー教室を実施しています。『このツアーでスキーの魅力にはまり、翌週に家族で再度滑りに行きました!』という声もあります。



| スケート教室

香川県のプロアイスホッケーチーム「香川アイスフェローズ」とコラボして、年1回開催しているイベントです。チームの本拠地であるトRESTA白山で、チーム選手に教えてもらうことができます。トRESTA白山は、通常10:00から入場・滑走が可能ですが、当イベントの際には8:30~9:30の1時間を無償開放してくれます。その1時間にスケート教室を行い、10:00以降は入場料を各自負担し、好きなだけ滑ることができます。

当初はクラブ会長1人が指導者を務めていたため、参加者全員に目が行きとどきませんでした。平成24年度に設立された「香川県地域密着型プロスポーツ活用協議会」の事業を活用することで、10名程の香川アイスフェローズの選手に指導していただけるようになりました。



上記以外にも、クリスマス会やキャンプ等、会員間交流のイベントを年間10回以上開催しています。

また、県内クラブと合同でイベントを開催したり、県外クラブ主催の大会に赴いたり、県内外問わず、他の総合型クラブとの交流も大切にしています。

3 今後の課題・展開

| 今後の課題

■ PRの難しさ

新聞やポスター、フライヤー等でイベントのPRや会員募集をしていますが、まだまだ情報が届きにくい状況にあります。広報の充実のためにもイベントを増やし、地域の皆さんにクラブ活動への理解、参加を促す機会を多く設ける必要があると考えています。

■ 運営スタッフ、指導員の確保

当クラブのスタッフおよび指導員は専従ではありません。それぞれが仕事を持ち、時間をやりくりして運営、指導に当たっています。スタッフ・指導員が増えると、教室の開催曜日や時間も会員の要望に応えられ、参加者の増加と、運営と指導の充実につながると考えます。そのためにも、地域住民が「運営に関わってみたい!」と思うような魅力あるクラブを目指しています。

| 今後の展開

■ 見る、する、支える

会員へのサービスとクラブの将来を考えると、運営スタッフの構成も多世代で対応し、次の世代がクラブ運営、指導の中心となるよう、幅の広い世代に運営に関わっていただきたいと考えています。

■ 運営、指導の充実

目指すクラブのイメージは、バイキングレストランのようにいつでも好きなメニューが選べ、なおかつデパートのような品揃えの豊富さ、質の高さをもつクラブです。

当クラブは、今は二十貨店ですが将来は百貨店となれるよう、幅広い年代の方にそれぞれの目的・目標・ライフスタイルに応じたメニューを用意して、一週間に1時間以上運動する楽しみを持ってもらえるクラブづくりを目指しています。

地域の多くの方に、家族で、職場や学校の仲間で、部活動の補習として、企業のレクリエーション等で、大いに当クラブを活用していただければと願っています。

(香川県クラブアドバイザー 山家 春香)

クラブプロフィール

設立年月日：平成22年3月28日

所在地：香川県宇多津町

運営：会員数：86名(平成27年度現在)
予算規模：190万円(平成27年度)

有給職員：なし

クラブ内資格：日本体育協会公認アシスタントマネジャー 5名

保有者数 日本体育協会公認フィットネス指導者 2名

日本障がい者スポーツ協会公認中級障がい者スポーツ指導者 1名

日本スポーツクラブ協会公認マスタースポーツクラブインストラクター 1名

日本SAQ協会インストラクター 1名

特徴：「DISPORT(ディスポート)は、世界共通の人類の文化」をクラブの在り方とし、スポーツの語源と言われている「DISPORT」=「楽しむ」「遊ぶ」「はしゃぐ」「気晴らし」を活動の中心としています。障がいの有る無しに関わらず、潜在スポーツ愛好者の「場づくり」、体力づくりや各々の適性、可能性の発見、健康維持・増進、予病とアンチエイジングへのサポートをしています。

■連絡先

郵便番号	769-0207
住所	香川県綾歌郡宇多津町浜七番丁94-1
TEL	090-8166-3386
Eメール	info@disport-kirakira.jp
ホームページ	www.disport-kirakira.jp



みんなで遊んで元気アップ!

アクティブ・チャイルド・プログラム

子どもを対象としたプログラムの内容で悩んだことはありませんか？

日本体育協会では、子どもが楽しく遊ぶことを通し多様な動きを習得することを意図した運動プログラムとしてアクティブ・チャイルド・プログラムを開発しました。

今号では、「アクティブ・チャイルド・プログラム」の概要や活用のための各種ツール、クラブでの実践例を紹介します。

アクティブ・チャイルド・プログラムをあなたのクラブでも取り入れてみてはいかがでしょうか？

アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)趣旨と概要

現在、子どもたちを取り巻く環境は昔と比べて大きく変わっています。塾や習いごとに通うことでの時間の増加、自由な遊び場が減ったことによる環境の変化、携帯ゲームの流行等の遊び道具の変化が重なり、子どもたちがからだを動かす機会は減少の一途をたどっています。

結果、子どもたちの体力低下はもちろん、肥満や各種アレルギー、不定愁訴、ストレスが解消されないことで心の問題にも影響を与えているといわれています。

ポイント① 子どもの体力や身体活動の現状

- 活発にからだを動かす遊びが減っている
- 自発的な運動の機会が減っている
- からだの操作が未熟な子どもが増えている
- からだを動かす機会が少なくなっている

ポイント② 発育期における運動の意義

- 体力・運動能力の向上
- 意欲的なこころの育成
- 認知的機能の発達
- 健康的なからだの育成
- 社会適応力の発達

子どもたちが“楽しみながら”“積極的に”からだを動かすための指導法としてアクティブ・チャイルド・プログラムを開発しました。このプログラムでは、発育期における身体活動・運動の意義や多様な動きを身につけることの重要性などについて解説するとともに、具体的な運動遊びや身体活動の習慣化を促すためのアプローチについて紹介しています。

おもに次の4つのテーマについて、実際の指導現場への普及を図っています。

1. 子どもの体力・身体活動の現状や、からだを動かすことの重要性
2. 多様な動きを身につけることの重要性や動きの質のとらえ方
3. 遊びプログラムの具体例として、運動遊びや伝承遊び
4. 身体活動の習慣化を促すアプローチとして、ポイントや実践例

また、子どもの身体活動量の低下や運動離れは幼児期から起きていると考えられるため、あわせて「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」もとりまとめています。幼児期から安心して指導できる活動プログラムの提供や、情報発信にも努めています。

普及のための各種ツール

アクティブ・チャイルド・プログラムの効果的な活用法を周知するため、日本体育協会は以下のようなツールを提供しています。

ホームページ

アクティブ・チャイルド・プログラム専用のホームページを設け、子どもたちが楽しみながらからだを動かすことのできる「運動遊びプログラム」とともに、指導のコツ、指導者と保護者のためのチェックリストを紹介しています。

✓ URL

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/acp/index.html>

デジタルブック

インターネット上で読めるガイドブックです。ホームページから閲覧できます。

ブックタイトル
アクティブ・チャイルド・プログラム
総ページ数 100P

ブックを読む

- Flash版でブックを開く
- HTML5版でブックを開く
- アプリ版でブックを開く

ActiBookアプリをダウンロード(無償)

Available on the App Store | Google play | Windows Store

動作環境

Flash Viewer

OS及びブラウザ

- Windows Vista、7、8
- Microsoft Internet Explorer 9.0以降 / Firefox 最新版 / Google Chrome 最新版
- Mac OS X v10.7、v10.8、v10.9
- Safari 最新版 / Firefox 最新版 / Google Chrome 最新版

※ブラウザでJavaScriptが動作する環境でAdobe Flash Player最新版がプラグインされている必要があります。
※タッチパネル操作は一部機能が動作しないことがあります。

※Adobe、Adobeロゴ、Flash、Adobe Flash Playerは、Adobe Systems Incorporatedの登録商標または商標です。
※Apple、Appleのロゴ、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
iPhone、iPad、iTunesおよびMulti-TouchはApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社ライセンスに基づき使用されています。
※AndroidおよびGoogle Playは、米国および他の国々で登録されたGoogle Inc.の商標又は登録商標です。
※Microsoft、Windows、Windows Store、Windows Vista、Windows 7、Windows 8またはその他のマイクロソフト製品の名前および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

- ✓ PDFでのダウンロードや、有料での冊子販売についてはこちらから
<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/776/Default.aspx>

スマートフォン&タブレット

Androidの方は、ホームページからのリンクおよびアプリストアから「アクティブチャイルドプログラム」で検索して、アプリをダウンロードできます。

※iOSの方は、ホームページからPDFをダウンロードしてご活用ください。

Google Play

アプリ

マイアプリ
ショップ
ゲーム
ファミリー
エディターのおすすめ

アカウント
マイアクティビティ
ウィッシュリスト
コードを利用
ギフトカードを購入
保護者向けのガイド

アクティブ・チャイルド・プログラム
公益財団法人 日本体育協会 スポーツ ★★★★★
無料

ウィッシュリストに追加 インストール

類似のアイテム

- 初心者プログラマー
Rehego ★★★★★ 無料
- スポーツリスマ
公益財団法人 日本体育協会 ★★★★★ 無料

このデベロッパーの他のアプリ

日本体育協会「アクティブ・チャイルド・プログラム」(ACP)のアプリです。楽しくからだを動かす遊びや実践事例の動画を視聴できます。

Ⅰ 幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会

「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」の効果的な活用法を周知することを目的に、地域のスポーツ少年団関係者等を対象とした講習会を開催しています。

講習会は、理論編と実技編の2部構成で実施しています。理論編では幼児期における身体活動・運動の意義、指導法等を学び、実技編では実際に運動遊びを体験しながら、指導のポイントを学ぶことができます。



- ✓ 11月から2月にかけて開催される講習会の日程・申込方法等詳細はこちらから
<http://www.japan-sports.or.jp/club/tabid/1061/Default.aspx>

 特別企画

アクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れているクラブ

[NPO法人 たかはまスポーツクラブ] <愛知県高浜市>

1 クラブ概要

スポーツ振興基本計画の総合型地域スポーツクラブ設置の趣旨に沿って、高浜市が中心になり、高浜市体育協会加盟組織・学校教員・当時の体育指導委員などから選出された代表者で構成された設立準備委員会を発足して、講習会・勉強会などをおこない、平成16年4月25日に設立総会を開催しました。

発足時の内容は、教室事業14教室、決算額795万円(内、市補助金550万円)スタッフ2名でした。高浜市は元々財政力の

弱い市で、市からの補助金はいずれ出なくなると告げられていましたが、クラブを継続推進するために高浜市の協力をいただき、クラブの資金づくりとして①高浜市スポーツ施設の運営・管理をする指定管理事業 ②高浜市のスポーツジム事業を受託しました。お陰様で現在でも教室年間会費はクラブ発足時と変わらず、子ども4,000円、大人6,000円で行っています。平成28年度教室事業は、25教室・2サークル・4講座となっています。

2 アクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れるまでの経緯・実施までの取り組み

日体協の公認コーチ資格を持つ卓球指導者の神谷氏が子どもたちの指導に活かしたいと思い、コーディネーショントレーニングを取り入れようといろいろと情報を収集していく中で、SCネットワークあいちの研修会でアクティブ・チャイルド・プログラムに出会いました。卓球の指導の中での準備運動の一環としてアクティブ・チャイルド・プログラムの要素を取り入れて活動をしていましたが、競技を始める前の子ども達にも体を動かすことを好きになってもらいたいとの気持ちから、アクティブ・チャイルド・プログラムだけの教室を展開することとなりました。

教室は、平成28年度は4月から年間25回の開催を予定し、土曜日の午後に1時間教室を行っています。定員は毎回20人と

し、年中児から小学校6年生(未就学児は親同伴)を対象にしています。

参加者募集については、アクティブ・チャイルド・プログラムの名称だけではどのような活動をするのかわからないため、「遊びを中心とした楽しく自然と体を動かすことのできるプログラムです」と紹介することで、スポーツに特化したものではなく、楽しい活動を目的としている点をアピールしています。対象年齢を主に小学生としており、年齢によってできることに差があるので、低学年と高学年の二つに分けてプログラムに差をつけています。子ども向けのプログラムなので卓球の指導者仲間にアシスタントとして入ってもらったり、保護者の方にも声掛けなど簡単なお手伝いをいただいています。



SCネットワークあいち 研修会の様子

3

アクティブ・チャイルド・プログラムの効果・影響と現在の状況

4月からプログラムがスタートしたばかりなので、目に見えて効果が出てきているというわけではありませんが、アクティブ・チャイルド・プログラムを導入したことにより、卓球の教室に今までなかなか参加しなかった低学年の子どもたちが来るようになったり、このアクティブ・チャイルド・プログラムの教室をきっかけに卓球教室に参加する子も少しずつ増えてきました。また、プログラムによっては保護者も一緒に参加してもらい、親子で楽しめるような工夫もしています。



4 今後の課題・展望

指導者の神谷氏曰く「自分自身が現在勉強中なので、そこが一番の課題です」とのことでした。アクティブ・チャイルド・プログラムの教室を継続していくためには、指導者がプログラムの引き出しを数多く持っていなければならないことを実感しているとのことでした。

昨年、大阪でのアクティブ・チャイルド・プログラムの普及講習会を受講し、今年度も講師講習会の受講を予定しています。その他にも広域スポーツセンター主催のコーディネーショントレーニングの講習会等にも参加し、自らの指導者の資質を高める努力をされています。活動場所が体育館という限られた場所になるので、その中でいかに

子どもたちを楽しませて、体を動かす喜びを体験してもらうことができるかが現在の課題とのことでした。

こうした子どもたちが気軽に参加できるスポーツ教室を含め、NPO法人たかはまスポーツクラブは、常に高浜市民憲章にある『スポーツに親しみ、健康な体をつくります』を実践していくことを目指しています。そして、次世代を担う子どもたちの体力を育成し、ライフスタイルに合わせてスポーツを楽しむことや、年齢、興味、関心、体力、技術、技能レベルに応じ、定期的・継続的にスポーツ活動をするための環境づくりをしていきたいと考えています。

(愛知県クラブアドバイザー 山田 瞳)

クラブプロフィール

設立年月日：平成16年4月25日

所在地：愛知県高浜市

運営：会員数：720名(平成27年度現在)
予算規模：96,779千円(平成27年度)

有給職員：37名

クラブ内資格：日体協公認クラブマネジャー 1名
保有者数 日体協公認アシスタントマネジャー 2名
日体協公認競技別指導者資格 14名

特徴：愛知県で一番の小さな市ですが「子どもからお年寄りまで、スポーツに親しみ元気な一生を送ろう」という「総合型地域スポーツクラブ」として、スポーツ振興に努めています。市民・スポーツ関係者と行政の『思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま』のキャッチフレーズを大切に、市民の皆様と健康づくりに励んでいます。

■連絡先

郵便番号	444-1324
住所	愛知県高浜市碧海町二丁目7番地8
TEL & FAX	0566-87-5136
Eメール	tsc-07@katch.ne.jp
ホームページ	http://www.tsc-7.com/

特別企画

アクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れているクラブ

「むれスポーツクラブ」
〈香川県高松市牟礼町〉



1 クラブ概要

むれスプレッシュ財団・牟礼町体育指導委員会・牟礼町教育委員会・町内各種競技団体が力を合わせ、「スポーツを通した元気なまちづくり」をテーマに、平成18年3月19日に、総合型地域スポーツクラブ「むれスポーツクラブ」を設立しました。

平成28年度は、19の交流大会・10の教室・いつでもだれでも参加できる2教室・1つのイベントを計画しています。なかでも本年度は、クラブ設立10周年記念イ

ベントを行う予定です。また、ノルディックウォーキングやポールウォーキング教室、フィットネス関係の教室、子ども向けに、ACC教室(アクティブ・チャイルド・クラブ)・フットサル教室を取り入れて、多くの会員のニーズに応じて「いつでもどこでもだれでも」参加できるスポーツを行い、「つくろう、みんなで元気なまちを!」というクラブのスローガンのように、元気なまちを作っていきたいと思います。

2 「ちびっこ体操教室」開催から「むれACC」へ

クラブでは、平成25年度から、幼児（年中・年長）と小学校1～3年生を対象とした「ちびっこ体育教室」を行っていました。この教室をはじめたきっかけは、会員から子ども向け教室の開催を希望する声が上がっていたことや、幼児期・学童前期の運動スキルを身につけることの重要性を感じていたからでした。

そして、教室を継続していく中で、平成27年度に岡山県で開催されたアクティブ・チャイルド・プログラム普及講習会を受講しました。ちびっこ体操教室とアクティ

ブ・チャイルド・プログラムの運動内容が似ていたことから、平成28年度より教室名を「むれACC（アクティブ・チャイルド・クラブ）」と変え、運動遊びを中心に行っています。

「むれACC」は、幼児（年中・年長）と小学生（1年生～3年生）に分け、毎週土曜日75分間、定員を16名とし、行っています。指導者・指導者補助を各1名配置し、本年度は幼児13名、小学生11名が参加しています。

3 アクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れたことによる影響

アクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れたことで、様々な効果が出ています。年中から教室に入った子どもは、最初はなかなか思うように身体を動かせませんでした。教室に入って1年も経つと身体が動かせるようになり、指導者の言葉もよく理解できるようになりました。また、運動が不得意だった子どもが色々なことができるようにもなりました。保護者からは「運動が苦手だった子どもが、いきいきと元気になりACC教室に行くのが楽しみにしている」という声もいただいています。まさに、遊びを

通して、子どもが身体を動かす楽しみを知り、様々な身体の動きを習得できる場になっているのではないかと感じています。

また、クラブとしても、子どもを対象とした教室を開催することにより、会員が増え、会費・参加料収入もあがるといった収益の面でもよい影響が出ています。

その他にも、幼稚園・保育所が異なる幼児が参加しているため、保護者同士もこの教室で知り合い、教室外でもコミュニケーションを取るようになるといったネットワークづくりの場にもなっています。

4 今後の課題

「むれACC」の今後の課題は、参加者の確保と指導者の育成です。ホームページやチラシなどで、保護者に対して幼児期にからだを動かすことの大切さをPRし、参加者を確保していきたいと考えています。また、指導者の育成においては、今いる指導者のほとんどが高齢化しているため、若い指導者を確保し、子どもからお年寄りまでが楽しく「いつでも、だれでも、どこでも」

スポーツができる環境を整えていきたいと思えます。

一方で、クラブ全体が抱える問題もあります。会員の減少、教室によって参加人数の差が出ていること、財源の確保、運営スタッフ・指導者の確保等です。これらの課題を、スポーツ振興くじ助成を受けている間にできるだけ克服して、自立したクラブ運営ができるように頑張っていきたいと思えます。

（むれスポーツクラブ
クラブマネジャー 落合 賢）

クラブプロフィール

設立年月日：平成18年3月19日

所在地：香川県高松市牟礼町

運営：会員数：886名(平成28年8月現在)
予算規模：950万円(平成28年度)

有給職員：1名

クラブ内資格：日本体育協会公認アシスタントマネジャー 4名

保有者数 日本体育協会公認エアロビック指導員 2名

日本体育協会公認テニス上級指導員 1名

特徴：むれスポーツクラブは、「平成の大合併」で「スポーツを通じた元気なまちづくり」をテーマに誕生しました。地域スポーツの担い手として、自主自立・受益者負担を原則とする公益性の高いクラブづくりを目指し、伝統のある各種大会・教室を継続して実施するとともに、より多くの住民が、「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツに親しめるよう事業を展開し、「つくろう、みんなで元気なまちを!」というクラブの理念のように、元気なまちを作っているクラブです。

■連絡先

郵便番号	761-0121
住所	香川県高松市牟礼町牟礼152-10 牟礼総合体育館内
TEL & FAX	087-887-5081
Eメール	mure-sportsclub@mb.pikara.ne.jp
ホームページ	http://wwwb.pikara.ne.jp/mure-sportsclub/

連載



みんなで盛り上げよう!

オリンピック・ムーブメント

オリンピックデー 2016

みんなで42.195km歩いて走ってつなごう!

[NPO法人 SPORTIVOひがしいずも]

国際オリンピック委員会が創設された6月23日は、「オリンピックデー」として世界中でさまざまなイベントが行われています。

今回は、クラブが行ったオリンピックデー関連の取り組みを紹介します。

●実施日時 平成28年6月21日(火)

●実施会場 東出雲体育館

●参加者数 114名

1 実施経緯

一昨年、広島県北広島町のオリンピックデーイベントでみんなでマラソンをリレーしているのを知り、「これならできる!」ということで昨年の6月23日(火)に初めて活動しました。

2 企画内容

体育館アリーナに周回コースを設置し、42.195kmをリレー形式でバトンをつなぎました。歩いても、走っても参加が可能で、一人が何周まわってもかまいません。

昨年(開催1回目)のタイムが3時間32分19秒だったものが、今年は2時間32分43秒で、114名が42.195kmをバトンでつなぎました。

昨年は、中高年の方はほとんど歩いての参加でしたが、今年はその方々がみなさん走って参加されました。「今年は走ってるー!」と、自分たちで1年間の活動の成果を喜んでおられました。

スポーツ少年団の子ども達は、普段は走る練習が好きではありませんが、この日はリレーにしているので負けられない気持ちが強く、普段とは大違いの姿を見ることができました。特に夕方からはスタート位置を二つに分けているので、「ぬけー!負けるなー!」の声援が大きくなっていきました。その姿を見た指導者からは、「こんなに走ってくれるなら喜んで参加しますよ」との声がありました。

1周が100m程度のため、高齢者の方も参加可能であり、そこから幼児など子ども達に繋ぎ、さらに小学生の低学年、そして高学年に繋いでいく姿が見られました。

おばあちゃんから孫へのバトン渡し……すごくうれしいですね。総合型スポーツクラブらしいなと思っています。



3 今後の展望

現在は、参加しているのが一部のチームや教室の参加者のみのため、もっと多くのクラブ会員に参加してもらえるようにしたいと思っています。

今後は、県内のクラブをつなぐリレーイベントにできれば、地方でもよりオリンピックが身近に感じられるのではと感じています。

クラブプロフィール

設立年月日：平成22年3月16日

所在地：島根県松江市東出雲町

特徴：『健康』をキーワードにしたスクール事業を中心に始まったクラブも、現在は30を超える教室数となりました。その中でも子どもたちが参加できる種目を毎年増やしており、現在は1,000人を超す会員数の半分が中学生までの子どもたちです。元気な声が、体育館中に響いています。

■連絡先

郵便番号	699-0101
住所	島根県松江市東出雲町揖屋1139-2
TEL	0852-52-6722
FAX	0852-52-6821
Eメール	soutai-k@web-sanin.co.jp
ホームページ	http://sportivo-h.org/

連載



みんなで盛り上げよう!

オリンピック・ムーブメント

オリンピックデー 1,500m世界記録に挑戦!

[よろずや広島北]

国際オリンピック委員会が創設された6月23日は、「オリンピックデー」として世界中でさまざまなイベントが行われています。

今回は、クラブが行ったオリンピックデー関連の取り組みを紹介します。

●実施日時 平成28年6月22日(火)

※23日が休館日の為オリンピックデーの前日に実施

●実施会場 北広島町豊平中学校体育館 16:30～

北広島町千代田総合体育館アリーナ 16:30～

●参加者数 北広島町豊平中学生 75名

北広島町千代田中学生 40名

1 企画内容

男子1,500m走の世界記録「3分26秒」に、5人1組でリレー式で挑戦しました。

豆知識

		タイム	〈参考〉 100m平均
世界記録	男子1500m	3分26秒	13.7秒
	女子1500m	3分50秒	15.3秒
日本記録	男子1500m	3分37秒	14.5秒
	女子1500m	4分07秒	16.5秒



2 今後の展望

豊平中学校のタイムは3分56秒、千代田中学校のタイムは3分36秒でした。

今回は世界記録へは届きませんでしたが、参加した中学生たちは、世界記録という速さを自分の足で感じ取ることができ、そのことで興味や関心を示していました。

陸上種目に限らず他の種目にも興味を持つことに期待をし、オリンピックレガシーについても今後教育委員会と連携し、当クラブより学ぶ機会を作っていくことが大切であると考えています。



クラブプロフィール

設立年月日：平成21年6月10日

所在地：広島県山県郡北広島町

■連絡先

郵便番号	731-1712
住所	広島県山県郡北広島町都志見2609 とよひらウイング内
T E L	0826-84-1414
ホームページ	http://toyohira-gap.jp/



助成金情報

YMFSスポーツチャレンジ体験助成

[実施団体] (公財) ヤマハ発動機スポーツ振興財団

世界にはばたく逞しい人材育成を目的に、アスリート・指導者・審判・ジャーナリストなど幅広い分野において、スポーツの普及・振興や競技水準向上につながる活動をしている個人および団体を募集しています。

※講習会やイベント開催などの普及活動、施設・団体などの運営活動、スポーツ少年団等の指導などは助成対象外です。

[申込期間] 平成28年9月1日(木)～11月8日(火)

ホームページから入力する「電子申請」と、様式を印刷・記入した上で郵送する「書類申請」があります。

<http://www.ymfs.jp/project/assist/outline/>

スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

[実施団体] (公財) 住友生命健康財団

コミュニティスポーツを暮らしの中に位置づけ、地域社会における健康課題の解決や社会参加に困難を抱える人たちの健やかな生活の増進に取り組む活動をしている団体に助成します。

[申込期間] 平成28年10月3日(月)～10月17日(月) 必着

応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入した企画書を3部作成のうえ、配達記録の残る手段で郵送します。

<http://www.skzaidan.or.jp/>

元気シニア応援団体に対する助成活動

[実施団体] (一財) 生命保険協会

地域社会において、高齢者を対象にした健康管理・増進等の活動に取り組んでいる民間非営利の団体、ボランティアグループ、NPO法人などに対して助成を行います。

[申込期間] 平成28年9月1日(木)～10月31日(月) ※当日消印有効

助成申請書をダウンロードし、必要事項を記入したうえで正本1部・副本1部を必須添付書類と一緒に簡易書留で送付します。

<http://www.seiho.or.jp/>

お知らせ

イベント情報

◎ブロック別クラブネットワークアクション2016

【主催 公益財団法人日本体育協会 総合型地域スポーツクラブ全国協議会】

総合型地域スポーツクラブ関係者が抱える課題解決の糸口を探るための情報の共有化や、クラブ育成支援のためのネットワークの強化を図ることなどを目的として、全国9ブロックでクラブネットワークアクションを開催します。

☑ 開催日時・場所、参加申込方法等詳細については以下のURLを参照ください。

★申込受付中ブロック：北海道、東北、近畿、中国

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/508/Default.aspx>

◎平成28年度 公認スポーツ指導者全国研修会

スポーツの意義や価値があらためて問われている今、指導者一人ひとりがこれまでの指導活動について振り返り、これからのスポーツ指導のあり方について考え、より一層の資質向上を図ることを目的として本研修会を開催します。

日 時：平成28年12月10日(土)

会 場：TKPガーデンシティ品川 ボールルーム

参加費：5,400円(消費税込)

定 員：500名

☑ 詳細についてはこちら

<http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/239/Default.aspx>

※9月中旬に指導者マイページ及びFAXにて申込受付を開始する予定です。

◎第71回国民体育大会 2016希望郷いわて国体

10月1日から第71回国民体育大会 2016希望郷いわて国体本大会が開催されます。

日本体育協会では、国体応援サイト「#国体fan」を開設しました。

サイトには、応援メッセージの投稿ページや国体トリビアのページがあります。

出場選手へのメッセージを投稿しましょう！

☑ #国体fan

<http://www.kokutaifan.japan-sports.or.jp/>

☑ 投稿ページ

<https://www.kokutaifan.japan-sports.or.jp/post/>